

其後ハまろくつらつおまゝ  
市川市ト下ニ 海東の暖  
地ハ其の富リ春日ニ  
和ニりニゆり道トありし  
のます いちどゆりし  
麩何カと紐淡でも運ば  
ずはわいかと 白井 大佛  
カとと折ニしりうり  
にげるとます 道に

其の白井大佛多と其  
なるを念ニ稀ニて い  
ハ益也も 微眉の一  
カとまぬがとて なる  
のうちニ 年大いニ 油  
ニ行きますとまれ 日  
と海元と 湯腔ニカ  
んで大いニ 仰テ 表  
これ終

師司まの今其集れ  
表のよい平ニ 下  
後昭人富なるもの  
つは其子にうら  
ついまどい返  
かえらる多 美  
昔宜し 西  
とだましまし け  
節ニす 深  
の心  
光  
和

二日十一

柔石王

三上於菟寺様

二日十一  
和坂巨表  
寺川美